



SII

学校だより

小豆沢学びのエリア《志村二小・志村四小・志村二中》



校訓：まじめ

令和6年4月15日

校長 山口 敦 No. 2

## 「5ドルの挑戦」

校長 山口 敦

令和6年度が始まりましたが、皆さんはどのような目標を設定しているのでしょうか。

様々なチャレンジをしていく時には、困難な問題に直面することもあるでしょう。そのような場合、時間や労力が無駄になるだけでなく、自信を失ってしまいます。また、困難な課題に出合うだけで、その解決をあきらめてしまうことすらあります。

その際に、解決に向かう方法の1つを紹介しましょう。それは、「視野を広げて、視点を変えること。違う角度から物事を考えてみること。」です。

なかなかうまくいかない場合、その課題に対して視点を変えたり、違う角度でとらえ直したりすることで、様々な切り口で考えることができ、解決に向かうことがよくあります。

視野という言葉は、元々は「目で見えている範囲」のことを指しますが、思考や知識の幅が広く多面的に物事をみることができている状態のことを「視野が広い」と言うようになりました。視野を広くするためには、知識や経験の幅が大きくなる必要があります。例えば、ニュースやテレビ、雑誌など、多くの情報が入ってくると思いますが、その中でよく分からないことが出てきたら、そのままにせず調べてみるようにする。また、普段出会わなそうな人や、自分とは異なる考え方や年代の人と積極的に話す方法もおすすめです。

コップに水が半分入っていると、「半分しかない」と、思うか「まだ半分ある」と思うか、なくなった部分を見るのか、ある部分を見るのかで気持ちが変わります。アフリカに靴を売りに行ったセールスマンの話も有名です。「ここには靴を履いている人はいないから、売れない」と、報告した人。「ほとんどの人が履いてないから、靴が売れる」と報告した人も、どこを見るのかで世界が違って見える例です。

1つ問題を出します。封筒の中に5ドルが入っています。「2時間でできるだけ増やせ」というのが問題です。これは、アメリカの大学で実際に学生に出された問題です。1つのクラスをいくつかのチームに分け、チームごとに問題に取り組みました。問題のルールを紹介しましょう。

ルール1：元手として5ドル（約750円）の入った封筒を受け取る。

ルール2：増やす方法を考える時間は5日間。

ルール3：5日間で計画を練る時間はいくら使っても良いが、封筒を開いたら2時間以内でお金を

増やさなければならぬ。

ルール4：どのような手段でお金を増やしたか、他の学生に3分間で発表する。

この話は、「20歳のときに知っておきたかったこと」という本に掲載されているものです。

多くのチームは「ラスベガスに行く」とか、「宝くじを買う」というものでした。また、5ドルで道具や材料を揃えて、「洗車サービスをする」、「レモネード・スタンドを開く」、「人気のレストランで食事をする時にお客さんが並ばなくていいように、事前に並んで座席をキープする」など商品やサービスを提供してお金を増やそうとしたチームもありました。

実際に学生達は5ドルを平均で80ドル（約12,000円）にしました。トップのチームはなんと650ドル（約97,500円）を生み出しました。しかも事前に渡された5ドルには全く手をつけることがなかったというのも驚きです。

このチームは、自分たちに与えられた資源は何なのかを改めて見直したといえます。多くの人は、手元の5ドルを資源と考えます。しかし、このチームは、お金を増やした方法の報告を行う3分間こそが貴重な資源であると視点を変えるのです。

どうしたかという、ある会社を宣伝するための3分間のコマーシャルを制作し、それを会社に買い取ってもらい、学生に対して発表の3分間に上映することで広告料を得たのです。元手が無い状態で利益を出すにはどうすれば良いかを考えたそうです。

この「5ドルの挑戦」の話には、「常識を疑え」とか「常識にとらわれない」という言葉が出てきます。私たちは、世間一般的な知識やモノの見方やこれまで経験したり体験したりして身に付けたことなどで、考えたり判断したりしてしまいます。

一方的なものの見方や考え方ではなく、上からのぞいたり裏から調べたりひっくり返したり、そのような多面的なものの見方・考え方をすることや、ちょっとした視点を変えることによって、見えてくる世界が変わってきます。

大切なのは、無理だと結論づける思い込みを越えて何か方法はないかと考えられるようになれば、今までとは違った結果が見られるのではないかと思います。皆さんの日々の学習にも通じるものがあるのではないのでしょうか。



【実験】人差し指を空に向けて頭より高いところに掲げてください。次に、その指を「時計回り」に回転させてください。

回転を止めずに、その指を自分の胸の前まで降ろしてください。

今、あなたの指は「時計回り」に回っていますか？それとも「反時計回り」ですか？

これで実験は終わりです。あなたの指は全く同じ動きを繰り返していただけなのに、あなたの目の位置、即ち視点が変わっただけで、正反対の動きをしているように見えたでしょう。

### 始業式 誓いのことば

8年代表 Hくん

私は、この1年で2つのことを頑張りたいと思います。1つ目は、勉強です。8年生になると、勉強が難しくなります。また、部活動では、私達8年生が主体となるため、両立が難しくなっていきます。しかし、そんな中でも計画的な学習や授業の予習・復習をし、高校受験に備えていきたいと思います。

2つ目は、部活動です。新7年生は入部したとき、何をすれば良いのか分からないと思います。そんな時に、1年前、右も左も分からない私達に、優しく接して下さった先輩方のように優しく接していきたいと思います。そして、仲間とともにバスケに全力で取り組み、喜びを分かち合いたいと思います。

私は昨年度、新入生誓いの言葉で、「挑戦する気持ちをもつ」と言いました。この言葉を忘れず、何事にも挑戦して、この1年間を過ごしたいと思います。

9年代表 Mくん

私が志村第二中学校に入学してから2年が経過し、最上級生になりました。

私は9年生に進級するに当たって「下級生の手本となるような最上級生」という存在になり、この学校を支えていきたいと考えました。

私は7、8年生の時に、部活動や生徒会での活動などで、何をすれば良いのか分からなくなったときに、先輩の行動を見習って動い

たり、先輩から指示を受けてから行動したりしてました。しかし、今年度は私達が最上級生になるため、今までの先輩方のように部活動や委員会活動で積極的に行動して下級生のことをリードしていきたいです。

「最上級生」という立場になった私達が人一倍責任感をもって行動して下級生の手本となることで、志村二中の部活動や委員会活動が今以上に活発になり、学校生活もより良いものになっていくと思います。

また、日常生活の様々なところで受験に関する話を聞く機会が増え、受験生になったという自覚が強くなってきました。そのため学習面では、受験に向けて計画的に学習することを目標として、得意不得意に合わせて自分で各教科の学習時間や問題の難易度などを考えて勉強に励みたいです。

### 入学式 歓迎のことば

9年 Kくん

温かな春の日差しが心地よい季節となりました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私達、在校生一同は皆さんのご入学を楽しみに待っていました。在校生を代表して歓迎の気持ちを伝えたいと思います。

さて、皆さんは、先月の小学校卒業式から今日まで、どのような気持ちで過ごしてきましたか。新たな生活にワクワクしていましたか。中学校生活とはどのようなものなのだろうか、友達は作れるのかな……といった不安な気持ちできたか。きっと、どちらの気持ちも入り交じっていたと思います。それは、私達在校生も自分たちの入学式では同じ気持ちでした。少しだけ勇気を振り絞って、隣の友達に話しかけてみたり、分からないことを聞いてみたりしてみましょう。その少しの勇気と行動で、一緒に頑張れる仲間が増えていくと思います。

中学校には小学校といくつか違いがあります。1つ目は、教科毎に先生が替わるということです。小学校では、図工や音楽など一部の教科を除いては、担任の先生に教えてもらっていましたが、中学校では教科毎に教えていただく先生が替わります。また、小学校では、教室移動をすることはあまり多くはなかったと思いますが、中学校では、教室移動が

ある教科もあります。授業準備をして教室移動もしなければならないので、慣れるまで大変かもしれません。しかし、時間の使い方が分かってくると、やるべきことを先に行い、友達と楽しい時間を過ごせるようになります。

2つ目は、定期考査があるということです。定期考査とは、年に5回あるテストのことです。最初は何から勉強していけば良いか分からないと思います。でも、授業中に先生方は「こんな学習をすると良いよ」と教えてくれます。それを素直にやってみてください。すると、少しずつ勉強の仕方が分かったり、日常的に勉強する習慣が身に付くと思います。

3つ目は、部活動です。新入生の皆さんの中には、もしかしたら中学校生活の中で最も楽しみにしているかもしれません。小学校にはクラブ活動というものがありました。大きく違うのは活動日数です。運動部になると週5日活動することもあります。部活動では自分のやりたいことを仲間とともに共通の目標に向かって励み、共に高め合うことができます。大変なこともあります。一つずつ乗り越えていくことで、さらに自分を成長させることができると思います。

さて、皆さんは中学校生活を充実したものにするために必要なことは何だと思いますか。考えてみてください。私は、メリハリを付けることやコミュニケーションを取ることだと思います。

志村二中にはたくさん行事があります。6月にある運動会、10月にある合唱コンクールなどでは、クラス対抗なので、どうすればうまくできるかクラスメイトと作戦を考えて練習を重ねたりします。学校行事では、スキー移動教室に行ったり校外学習で鎌倉に行ったり、自分たちだけで計画を立てて行動したりします。中学校では様々な小学校から集まって来た人と同じクラスの仲間として、コミュニケーションをとりながら協力することがとても大切です。

普段の学校生活では、毎日を楽しみ過ごすことが私はとても重要だと思います。しかし、授業中にしゃべって他の人や先生に迷惑をかけたりののは、よくありません。メリハリを付けることはとても大切です。

今日からは、新入生の皆さんも、志村第二中学校の一員として、一緒に支えていくことになります。勉強、委員会、部活動、行事な

ど、分からないことも多いと思いますが、必ず先生方や後ろにいる在校生が助けてくれます。だから、遠慮なく相談してください。ともに協力してより良い志村第二中学校にしていきましょう。

## 入学式 誓いのことば

7年 Oさん

桜の花が咲き、暖かい日差しが降り注ぐようになりました。このよき日に、私達112名はたくさんの方々に温かく見守られながら、伝統ある板橋区立志村第二中学校の入学式を無事迎えることができ、とても嬉しく思います。本日は、このような立派な入学式を私達のために用意してくださり、誠にありがとうございます。

今、私はこの場に立ち、これから始まる中学校生活に緊張し、少し不安な気持ちもありますが、それ以上に期待に胸を膨らませ、心から楽しみたい気持ちで一杯です。

私が中学校生活で目標に掲げていることの1つは勉強です。小学校から一段と内容が難しくなることはもちろん、中学校は教科も増えるので、より一層力を注ぎ、勉強に励みたいと思っています。先生方の指導の下、友達の意見を取り入れながら、自分で答えを導き出していきたいです。

2つ目は、部活動です。私自身まだ入りたい部活動は決まっていますが、まずは自分が一生懸命に取り組み、3年間諦めずに挑戦できる部活動に入りたいと思います。そして、先輩方や仲間と切磋琢磨し、ともにより高い目標に向かって最後までやり抜く力を付け、自分を成長させていきたいです。

今、私が掲げた2つの目標はもちろん、私一人では決して成し遂げることはできません。先生方、先輩方にご指導いただきながら、かけがえのない仲間とともに、どんな困難にも負けずに強い気持ちで頑張っていきたいと思っています。私達新入生は、まだまだ分からないことばかりですが、3年間ご指導くださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、志村第二中学校の校歌にある「自律の精神」を胸に、自ら考えることを忘れず、自分が掲げた目標に邁進することを誓い、新入生代表の挨拶とさせていただきます。

## 新入生歓迎会 7年代表のことば

7年 Tさん

本日は私達のために歓迎会を開いてくださり、ありがとうございました。小学校を卒業して、春休みが終わり、中学校に入学した今、私達は改めて志村第二中学校の一員になったのだと実感しています。

学校紹介のスライドやクイズでは、志村第二中学校の生活や行事など、楽しく学ぶ事ができました。そして、「学校行事に一生懸命に取り組みたい」という気持ちが高まってきました。中学校の伝統を受け継ぎ、先輩方に恥じない素敵な学年になりたいです。

生徒会や委員会活動は、学校の中心で活動をする大事な仕事だと思いました。私達も志村二中の一員として、学校のために精一杯頑張ります。時には、先生方や先輩方に頼ってしまい、ご迷惑をおかけすることもあると思います。ですが、一步一步前進して立派な中学生になるために頑張ります。これからもご指導、応援、よろしくお願いします。

部活動では、入学して間もない私達にとって「どのような部活動があるのだろう」具体的に「どんな活動をしているのだろう」という疑問がありました。ですが、今日、先輩方の部活動紹介を見て、疑問は解決し分かりやすく理解することができました。そして、「3年間頑張るぞっ」というやる気生まれてきました。今後は、学習と部活動との両立ができるように、全てのことを精一杯頑張りたいです。

今日はこのような会を開いてくださった先生方、生徒会や部活動の皆様など多くの方々に感謝します。ありがとうございました。そして、これから3年間よろしくお願いします。

## 新入生歓迎会



